



着任式・1学期始業式「一誠の子」の力強いメッセージ発表

4月6日着任式・始業式において、今年度学校を引っ張る6年生からのメッセージ発表があり、最上級生としての意気込みを感じることができました。ここに2人の発表を紹介します。

<お迎えの言葉> 児童代表六年

吾妻山の雪うさぎが、明るい日差しに照らされ春の訪れを感じます。

先生方、ようこそ歴史と伝統を誇る福島第一小学校へおいでくださいました。先日5名の先生方をお送りし、心細さを感じていました。しかし、今日、5名の先生方をお迎えできて、うれしい気持ちでいっぱいです。そして、先生方と新たな福島第一小学校をつくりていきたいと思っています。

ここで、福島第一小学校のすばらしさを紹介します。福島第一小学校には、『終始一誠意』という校訓があります。これは、『人が見ていようがいまいが、それと関係なく、いつでも、どこでも、終生変わることなく、誠意を第一として生きぬく。』という意味です。私たちは、この校訓を胸にどんなことにも誠意をもってがんばろうと努力しています。

JRC活動に力を入れていることも、自慢の一つです。毎週火曜日の朝には、たてわりのキッズ班ごとに六年生が中心となって奉仕活動を行っています。県庁前でのあいさつ運動やふんすい公園のゴミ拾いなど、自分たちで活動場所と内容を考えて行っています。

キッズ班活動も、私たちのじまんの一つです。一年を通して、一年生から六年生まででいろいろな活動を行います。みんなで、話し合って計画を立て、遊んだり、掃除をしたりします。特に、春の遠足はみんな楽しみにしています。

これから、おいでになった先生方と一緒に過ごせることがとても楽しみです。学校のことで分からないことがありましたら、どうぞ私たちに聞いて下さい。先生方、どうぞよろしくお祈りします。



学校の特徴がよくわかりました。一緒に頑張りましょう。

<新学年を迎えて> 児童代表六年

一小山の桜のつぼみもふくらみ、春の訪れを感じます。春は、新年度の始まりでもあります。私は、今日から六年生になりました。新たな気持ちで、この一年間がんばりたいことを発表します。

まず、**最高学年としての心構え**についてです。六年生は、学校のリーダーとして、福島第一小学校を支えていかなければなりません。困っている下級生、仲間がいたら**進んで手を差し伸べたい**です。そして、様々な場面で、『終始一誠意』の校訓を大切に行動し、**だれからも信頼されるような存在**になりたいです。

鼓笛パレード、市水泳大会・陸上大会など、学校の代表として取り組んでいく行事があります。これらの活動に積極的に取り組み、**学校のために、自分たちのために成果をあげたい**と思います。

次に、私個人の目標を二つかかげました。

一つ目は、**自主学习で6年間の総復習**をすることです。来年は中学生になるので今まで習った感じや計算を完璧に覚えたいです。

二つ目は、キッズ班などで困っている下級生がいたら、**やさしく親切**にしてあげられるようにしたいです。

これらのことを目標に一年間がんばっていきます。

一誠の子の夢や目標の実現のために、教職員一丸となって務めて参ります。御家庭でも今年度の目標を話し合ってみましょう。

